

2017-18寺嶋哲生ガバナー年度
国際ロータリー第2790地区

ロータリー情報研修会



分区ガバナー補佐 地区研究・研修統括委員会
(理念研究委員会・ロータリー研修委員会・RLI推進委員会)

2017-18 寺嶋哲生ガバナー年度 第2790地区ロータリー情報研修会開催日程表

分 区	ガバナー補佐名	所属RC名	開催月日(曜日)	開 催 会 場
第1分区	増田 定男	市 川	9月30日(土)	山崎製パン企業年金会館
第3分区B	小池 清二	市 原	9月13日(水)	五井グランドホテル
第4分区	内 田 稔	木更津東	10月28日(土)	オークラアカデミアホール
第5分区	西川 佳璋	勝 浦	11月25日(土)	勝浦ホテル三日月
第6分区	志田 延子	茂原中央	10月17日(火)	茂原市民室
第7分区	中村 亮太	旭	11月19日(日)	旭商工会館
第9分区	諸岡 靖彦	成 田	11月18日(土)	成田ビューホテル
第10分区	大 内 啓	柏 南	9月19日(火)	廣池学園
第11分区	杉山 芳夫	習志野	11月11日(土)	ウイシュトンホテルユーカーリ
第12分区	安 藤 俊雄	松戸東	10月20日(金)	松戸商工会議所
第13分区	山 崎 巖	野田東	10月21日(土)	野田商工会議所

(敬称略)

地区研究・研修統括委員会
(理念研究委員会・ロータリー研修委員会・RLI推進委員会)



ロータリアンであることを誇りに思う

「PROUD TO BE A ROTARIAN ロータリアンであることを誇りに思う」 今日お集まりの皆さんはこのフレーズを観て、聴いて、どのように感じられていますか？

ここの分区の皆様は、きっと、ロータリアンであることを誇りにしている方ばかりだと確信しております・・・・・・

今日の基調発表は、このロータリアンの誇りについて、皆さんとご一緒に考えロータリーの本質を身近に学び合いたいと思います。

ロータリーの基本理念である、人を思い遣り、人のために尽くす精神を学び、ロータリアンとして日常の実践活動に活かすことが最も大切であることを改めて学んでみましょう。

- ・ロータリー活動の基本は、人格形成を目指すこと
- ・ロータリアンが、定期的例会に出席し友情を育む
- ・ロータリーの哲学である奉仕の心を学び合う
- ・親睦を深め、それによってさらに、奉仕の心を磨く
- ・職業人生を充実させる理念と実践は本質が核です

ロータリアンは信頼しあい、友情を一層密にしてこそ尊敬する素晴らしい仲間とすることができます。
良質な親睦からは「奉仕の理念」が輝く徳となって人間性を磨き上げてくれます。

ここで、少しばかり手続き要覧に書かれている言葉を確認してみましょう。ロータリアンが定期的な例会に出席することにより、仲間との友情を育み親睦を深め、ロータリーの哲学である奉仕の心を深め、人生を充実させることが、ロータリー活動の基本であるとしています。

我々ロータリアンは信頼しあい、友情を一層密にさせて尊敬しあえる仲間として、良質な親睦を深めた結果に徳を得ることができます。我々ロータリアンは「奉仕の理念」に自信をもって矜持して、一層向上する役目があります。



PROUD MEMBER



**一人一人が
心がけること**

**誇りたかき
ロータリアン
であること**

そのためにも、私たちロータリアン一人一人が心がけることがあります。
まずは、誇り高きロータリアンである気概をもつことではないでしょうか・・・・・・・・

そのためにも、日頃から例会を通して、よき仲間と切磋琢磨をし、信用を積み重ねた信頼と友情を深める心得がとっても大切になってきます。

ロータリーを誇りに思うためには何が必要でしょうか？

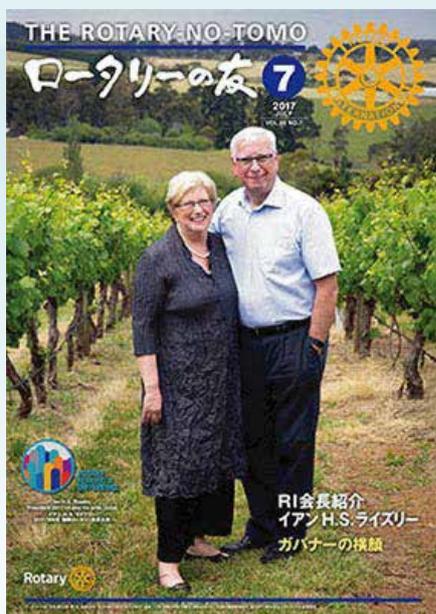
「より積極的に……」

- ・知ること
- ・興味を深める
- ・好きになること
- ・学ぶこと

ロータリーの本質とロータリアンの素晴らしさ

さて、私たちロータリアンがロータリーを誇りに思うためには何が必要で条件になるのでしょうか？

それは、一層積極的に、ロータリーを知ること　ロータリーに興味を深めること　ロータリーを好きになること　ロータリーを学ぶこと　どれもが大事なことです。素直な気持ちになってロータリーの本質を学びロータリアンの素晴らしさを認識し、仲間との語り合う時間をもっと大切にしたいものです。



ロータリーを知るために



標準クラブ定款 第17条 ロータリーの雑誌
第1節-購読義務

「ロータリーの友」誌をどれほど
活用していますか？

私たちロータリークラブの会員は、毎月国際ロータリーの地域誌である「ロータリーの友」誌を受け取っていますし、標準クラブ定款 17 条によって購読の義務を担っています。

参加された皆さんと、皆さんのクラブではロータリーの友誌をどのように上手く活用していますか？

会員としても、クラブ雑誌広報委員会としても、多くの記事を読み解き、会員同士や事業所や家庭で、掲載されているロータリー情報を、価値あるように役立たせる義務があるようです。

RI 情報や各地区での活躍ぶりを参考にして、もっと有効的な活用をクラブで話し合う価値は大きいでしょう！！

読む大切さを毎月学ぶ

ロータリーとは

ロータリーの目的

四つのテスト 言行はこれに照らしてから

国際ロータリー(RI)テーマ



特に、ロータリーを知り学ぶことができる貴重な情報満載の、ロータリーの友誌6ページの存在をご存知でしょうか？.....

ロータリーの友誌6ページの記載内容は毎号固定記事になっています。その内容は、「ロータリーとは」の歴史背景説明文章から、「RI テーマ」や「ロータリーの目的」、「四つのテスト」の核心が、毎月掲載されています。ロータリアンとして、ロータリーの基本的な歴史や本質を繰り返し、読み解き理解を深めることが、とっても大切に感じ取れる内容になっています。毎月定期的にロータリーの友を読み、様々な情報を仲間と共有し、身に着ける喜びを新鮮に味わいたいものです。

特にロータリーの「目的」や「四つのテスト」は最も大事であり最も重要な核心記述でありますので、慣習的でなく、ロータリーの本質を見直す機会として読み解きたいものです。

何度も読み返す中で、是非とも、ロータリアンとしての徳を磨き人間性を積極的に高めたいものです。



2017-18年度国際ロータリーテーマ
ロータリー：変化をもたらす
イアンH.SライズリーRI会長(オーストラリア)

さて、今年度の国際ロータリーテーマは、皆様ご承知の通り、イアン・ライズリー会長の「ロータリー：変化をもたらす」です

**私たちがロータリーにとどまり続けるのは
ロータリーで充実感を得ることができるからです**



**この充実感は、毎週、
毎年、「変化をもたらす」
ロータリーの一員である
ことから湧き出てくる
ものなのです**

ライズリー RI 会長は、私たちロータリアンが充実感と変化をもたらす恩恵を得られていることこそ、ロータリアンとしての存在価値があるのだと評価されています。

今年度のテーマとなった理由を、「奉仕を通じて人々の心に変化をもたらせ、誰かの人生を豊かにしている原因となっているからです」と、その理由を述べております。

1・ロータリーの一員となるためには
2・ロータリーで充実感を得るためには

- ・ロータリーを知り学び
- ・ロータリーを親しみ
- ・ロータリーを好きになり
- ・ロータリーを広く深く理解し
- ・ロータリーを心から誇りに思う
- ・ロータリーからの贈り物を享受する

手続き要覧やロータリーの友、ガバナー月信に親しみ読み解きましょう！

ここまでは、ライズリー RI 会長が語られたロータリーの友誌 7 月号の記事を紹介しました。

ロータリアンとして充実した活動と納得感を得るためには、手続き要覧やロータリーの友誌、ガバナー月信等からロータリーを柔軟に知って学び、親しみ、より好きになり深く理解し、誇りに思うことが大切になります。私たちはロータリーを学べば学ぶほど、理解をすれば理解するほど、ロータリーからの贈り物として、人間形成の源になる「徳」という、素晴らしい恩恵を自然に受け取ることができるのです。

人様を思い遣り人様に尽くせる実践から、自身の人間性が成長される恩恵を、もっと大切に受け止めて、自らを成長させていきたいものです。

ロータリーの理念を精通するために

基本理念

**職業人が一体となって、スキルと情熱をもって
地域社会に変化をもたらしてきた**

**ロータリーの112年間の実績は、世界中の
ロータリアンの誇りを高めてきた**

**ロータリーが受け継いできた職業人精神と
奉仕の歴史を理解するために、ロータリーの
基本理念に精通すべき**

それでは、ロータリーの理念に精通をするためには、どんな方法があるのでしょうか？

理念に精通するためには、まずはロータリーの基本理念をよく読み解く必要があります。

ロータリーの本質である理念や哲学は、ロータリーが創立以来の歴代の先輩たちが、いろいろと研鑽をする中で、「超我の奉仕」であり、または「最もよく奉仕をするもの最も多く報いられる」の二つの基本理念を公式標語として立派に定めてくれているのです。

－国際ロータリー並びにロータリークラブの今後の手引きとして、
綱領(目的)に基づく諸活動に関するロータリーの原則－

「社会奉仕に関する1923年の声明」

- 1) ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり
利己的な要求と義務、これに伴う他人のために奉仕
したいという感情との矛盾を和らげようとするもの
この人生哲学は、「超我の奉仕」哲学である
「最もよく奉仕をする者、最も多く報いられる」
という実践的な倫理原則に基づいている

尚且つ、この二つの標語こそがロータリーの哲学として、利己と利他の矛盾を調和し融和させるのだとして、1923年決議 34 項でも明確に表現されています。

ロータリーの理念に精通するための一つのツールとして、「手続き要覧」の白い色の 3 ページ目から記載されている情報が最適ではないでしょうか・・・

社会奉仕に関する 1923 年の声明や、中核的価値観や、四つのテスト、ロータリーの目的、五大奉仕部門、国際ロータリーの標語等が記載説明されています。

そのトップに掲載されている「社会奉仕に関する 1923 年の声明」ですが、一般的には決議 23-34 と呼称されて親しまれている方針です。

本来の呼称としては、声明発表当時の表題として書かれた、「ロータリーの目的に基づく諸活動に関するロータリーの原則」が本質であり、とって
も解かりやすい表題になっています。

入りて学び 出でて奉仕せよ

Enter to learn Go forth to serve.

例会出席によって形成された奉仕の心は
ロータリアン個人個人それぞれの
家庭、地域社会、国際社会において
実践に移すことが大切になります。

ロータリー理念

「超我の奉仕」 人を思い遣り人のために尽くす尊い心

実践原理(アーサーフレドリックシェルドン)

「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」

さて私たちは、クラブ例会によって学び形成された奉仕の心を、それぞれが家庭や事業所、地域社会にその実践を移すことが大切で重要な役目になっています。

人を思い遣り人のために尽くす尊い心をもって、最もよく奉仕をする者、最も多く報いられる二つの標語を信じて学び、身についた理念を実践に移す大きな役目も担っています。

まさしく、「例会活動においては入りて学び、社会に出でて実践奉仕せよ」は金言だと思えます。

1920年東京ロータリークラブ創設

米山梅吉翁のことば

「ロータリーの例会は人生道場であり、お互いに切磋琢磨して自己研鑽に励む貴重な修練場」

1974-75国際ロータリー会長

ウィリアム ロビンス氏のことば

ロータリーの第1の目的は、親睦と奉仕を通して人生を育成することである
クラブの価値は、そのクラブがいかなる人材を育てたかによって計られる

ロータリーが人間の本質を学び取る場であることの証明として、日本のロータリアンの創始者の一人である東京クラブ初代会長の米山梅吉翁の名言である、「ロータリーの例会は人生道場であり、お互いに切磋琢磨して自己研鑽できる貴重な修練場だと語っております。

また、元 RI 会長のウィリアム・ロビンスさんは、ロータリーの目的は親睦と奉仕を通して、人生を育成することであり、クラブの価値はいかなる人材を育てたかによって計られると示唆されています。

皆さんは、ロータリーについてどのような表現の仕方をされるでしょうか？・・・・・・・・

寺嶋哲生ガバナーは、地区運営方針の中で
2017-18年度行動指針を提示されました
「理念と実践～Think Next～」

「理念と実践～Think Next～」
関口徳雄研修リーダーは、ロータリーの
核にある固有の奉仕理念や
ロータリー哲学は変わっていない
ことは、誰しもが認めることです

我々の地区ガバナーである寺嶋哲生さんは、年度の行動指針として「理念と実践～ Think next ～」を提言されました。

関口徳雄地区研修リーダーは、ロータリーの核であるロータリー哲学は変わっていないことを明言されました。

ロータリー理念をしっかりと理解する、奉仕活動も積極的に実践に移す中から、新しいロータリーの思考を考えようと前向きな提言をされています。

ロータリーの魅力

知らず知らずのうちに、他人に対する
「思いやりの心」 「助け合いの心」
「尽くしあいの心」をもって、相手を
理解しようとする「寛容の精神」が
育成され自分自身の「人作り」の場

ロータリアンは「思い遣り深い人」

そんなロータリーの魅力とは、皆さんそれぞれがご自身の心の中に宿していることなのです。

人様に思い遣りの心や助け合いや尽くしあいの心、多様性や高潔性をもって寛容の精神を育成できたりしていることから、自分自身の人作りが体感できていることに、ふと気づかされることがあるのではないのでしょうか・・・・・・・・

我々ロータリアンは例会を通して人作りをして仲間との友情や信頼を深めて、世のために尽くせる徳をもった「思い遣り深い人」であることを改めて認識して誇り合いたいものです。



**私はロータリアンであると、常に誇りと自信を
もっています
ロータリーのすばらしさを学び合い語り合い、
世のため人のために伝搬していきます**

PROUD MEMBER「誇れる会員」、YES I AM A ROTARIAN「はい、私はロータリアンです」。

私はロータリアンですと、いつでも誇れる自信をもって、ロータリーの素晴らしさを学び合って、語り合うことで得た徳を、世のために伝え広めていく役目が私たちロータリアンにはあるのです。

誇りをもってロータリー活動を邁進することが
ロータリアンの目標であり、責務であります。

ロータリアンの基本的な特徴

中核的価値観(CORE VALUES)

- ・ 親睦(Fellowship)
- ・ 高潔性(Integrity)
- ・ 多様性(Diversity)
- ・ 奉仕(Service)
- ・ リーダーシップ(Leadership)

よりよい人間を育成し、よりよい人間関係を構築し、信頼できる仲間の輪を広げることにより、よりよい人類社会が構築できるロータリーの環境を誇りあいましょう。

ロータリーの理念は人間尊重の基本精神であることを確信したいものです。

ロータリーの本質とロータリアンの素晴らしさを
よく学びよく知ってこそ奉仕活動に結びつき
理念と実践は真のロータリアンの目標である

Let's be proud to be a ROTARIAN ロータリアンであることを 誇りにしよう

参考資料＝ 手続き要覧 MY ROTARY ロータリーの友7・8月号 ガバナー月信1・2号

ここまで、ロータリーの本質とロータリアンの素晴らしさを確認してきましたが、自らよく学びよく知ってこそ、実践する奉仕活動に活かされ、ロータリーの価値が高まります。

まさしく理念と実践のバランス感覚があればこそ、「ロータリアンの誇り」は真のロータリアンの目標になってくれます。

寺嶋ガバナーの行動指針である理念と実践を心がけた私たちは、もっと自信をもって「ロータリアンであることを誇りにしようではありませんか！！

LET'S BE PROUD TO BE A ROTARIAN を自信をもって口ずさみたいものです。

今回のロータリー情報研修会の基調発表が、少しでも皆さんのお役にたてることを願っています。

この分区に属します各クラブのご活躍を期待し、皆様のご協力に感謝し、お礼を申し上げます。ご清聴誠にありがとうございました。